まちの話題

大根を配って交通事故を根絶!!

7月15日、養父市尾崎の国道9号線で「交通事故の根絶」を合言葉に、地元産の大根や啓発チラシを配り、ドライバーに安全運転の呼び掛けました。

「夏の交通事故防止運動」の一環として、養父交通安全協会、養父署員、同市職員ら約40人のほか、関宮幼児センターの園児28人も参加しました。

通り掛かったドライバーに「交通ルールを守ってください」「安全運転をお願いします」と呼び掛け、自分たちで描き、色を塗って作った「おやくそくカード」と大根を手渡しました。

カードなどを受け取ったドライバーは園児たちの呼び掛けに応えたり、笑顔で手を振って応えていました。

安全運転を呼び掛けながら大根などを配る園児たち

迅速、確実な操作方法を競う

7月26日、養父市消防団（淨慶康治団長）による第2回養父市消防操法大会が但馬家畜市場、駐車場で実施されました。

この大会は、団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に実施されるもので、事前に行われた各方面隊大会の優勝チーム（ポンプ車の部4チーム、小型ポンプの部4チーム）が出場。

この日は、あいにくの天候でしたが、各チームとも日ごろの訓練の成果を存分に発揮し、迅速かつ確実な動きを披露しました。

大会の結果は次のとおりです。

【ポンプ車の部】

◆優勝＝八鹿第1分団◆準優勝＝関宮第4分団

【小型ポンプの部】

◆優勝＝八鹿第5分団◆準優勝＝養父第1分団

ポンプ車の部で優勝した八鹿第1分団は、平成22年開催の、第23回兵庫県消防操法大会へ出場します。

ポンプ車の部で優勝した、八鹿第1分団

拝啓　市民の皆様

今年の梅雨はずいぶんと遅い明けとなりました。冷夏の影響で、農作物の育ちは悪く、海山への来客も減少し、地域経済に大きな影響が出ています。また、予想外の局地的豪雨は、九州・中国・近畿地方に大規模な土砂災害を引き起こし、多くの尊い人命を奪いました。これから台風シーズンを迎える本市も、これを他山の石とし、日常の危機管理を怠りなく行ってまいります。

8月2日には地域の念願でありました関宮温泉「万灯の湯」を再開しました。新しい指定管理者として京福電気鉄道株式会社と経営協定を結び、懐かしく、誰もがもう一度抱かれてみたい「おばあちゃんち」をコンセプトに、関係者が知恵と力を合わせ、多くの交流人が訪れる賑わいの拠点に育ててきたいと考えています。開業当日は著名な書家の吉川寿一さんが招かれ、渾身の力を込めた養父市へのエール・「元気」の文字の揮毫をしていただきました。この作品は今、市役所の玄関で市民を勇気づけております。

いよいよ、お盆です。このシーズンになると、中島みゆきの『帰省』の一節を思い出します。

「けれど年に2回　8月と1月　人ははにかんで道を譲る　故郷からの帰り束の間　人を信じたら　もう半年がんばれる」

養父市が、帰省客の人間性回復の場であり続けられるよう願ってやみません。

市長　広瀬　栄